

幼児教育選択者（3年生）による 手作り絵本の作品展＆読み聞かせ会

12月12日(金)

12月12日(金)、放課後の多目的教室にて、3年生の幼児教育選択者による「手作り絵本作品展＆読み聞かせ会」が開催されました。

会場には、保育士や幼稚園教諭を目指す2年生が集まり、3年生の集大成となる作品を熱心に鑑賞しました。

心温まる手作り絵本などの展示スペースには、3年生が授業を通してコツコツと作り上げた世界に一つだけの絵本をはじめ、授業で共に学んだ赤ちゃん卵や保育検定の用具などがずらりと並びました。



特に絵本スペースでは、「これが手作り！？」と驚くような仕掛けがあるものから、優しい色使いのストーリーまで、個性豊かな作品を前に、後輩たちは一ページずつ丁寧にページをめくっていました。



先輩による読み聞かせでは、3年生による読み聞かせの実演も行われました。
子どもたちへの接し方を意識した優しい語り口に、会場全体が温かい雰囲気に包まれました。



読み聞かせの合間には、3年生が企画したミニクイズ大会を実施しました。

「赤ちゃんにあげるミルクの温度は何度？」「人魚姫は何童話？」など、幼児教育を学んでいる3年生ならではの専門的な、かつ楽しい問題が出題されました。

2年生は「えっ、どれやろう！？」と友達と相談しながら、正解が発表されるたびに歓声が上がり、遊びを通して保育の奥深さを知るきっかけとなりました。



その後の交流タイムでは、「保育検定の練習はどう進めたらいいですか？」「赤ちゃん卵はどうのようにお世話していましたか？」「幼稚園実習で大変だったことは？」といった具体的な質問が飛び交い、3年生は自分たちの経験を丁寧にアドバイスしていました。

3年生から後輩へのエール

「最初は折り紙も苦手だったけれど、みんなと協力して楽しく学べた」「この授業を選んで、面接でも自信を持って話せる経験ができた」という3年生の言葉は、進路を考えている後輩たちにとって大きな励みになったようです。

3年生の皆さん、素晴らしい展示と読み聞かせをありがとうございました！2年生の皆さんも、この経験を自分の進路選択にぜひ活かしてくださいね。